令和８年度　伊丹市民意識調査票

市民のみなさまには、日頃より市政にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

このたび、市民のみなさまの暮らしに対するご意見を幅広くお伺いし、今後のまちづくりや行政運営の参考にさせていただくため、本市にお住まいの満18歳以上の方を無作為に3，000人選ばせていただき、「市民意識調査」を実施させていただきます。

皆様からお寄せいただく貴重なご意見は、より良い伊丹市を築くための重要な土台となります。お忙しいところ恐縮ですが、本調査にご理解ご協力いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

令和8年（2026年）7月　　伊丹市長　　中田　慎也

【　調査票の回答について　】

令和 8年 7月 24日（金）までに、調査の回答をお願いいたします。

回答時間目安　約１０分

【 回答方法 】

＜郵送の場合＞

この調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ郵便ポストへ

＜インターネットの場合＞

インターネットで右側のQRコードまたは下記URLにアクセスのうえ回答

ID　：●●●

URL：https://questant.jp/q/JT9ZVGGQ

※このIDは、二重回答を防ぐためのもので、個人を特定するものではありません。

【　その他　】

＊この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果は統計的に処理し、市政運営のための目的以外で使用いたしません。

＊封筒のあて名の方、ご本人が回答してください。

＊ご本人が引っ越しや単身赴任、入院等で、不在の場合は破棄してください。（代筆不要）

＊この調査は、令和8年5月末時点の住民基本台帳をもとに、無作為に抽出させていただいた市民のみなさまにご協力をお願いしております。

＊調査票には、鉛筆またはボールペンで記入してください。

この調査に関するお問い合わせは・・・

伊丹市総合政策部政策室　電話 072－784－8007（直通）

■　あなたの性別・年齢をおたずねします。※統計上必要ですのでおたずねしています。

問１　あなたの性別をお知らせください。（**○は１つ**）

1　男性	2　女性	3　その他(または答えたくない)

問２　あなたの年齢をお知らせください。（**○は１つ**）

1　18～19歳	3　30～39歳	5　50～59歳	7　70～79歳
2　20～29歳	4　40～49歳	6　60～69歳	8　80歳以上

■　住みやすさについておたずねします。

問３　あなたは伊丹市が住みやすいまちだと思いますか。（**○は１つ**）

1　非常に住みやすい	3　どちらともいえない	5　非常に住みにくい
2　住みやすい	4　住みにくい	

■　定住志向についておたずねします。

問４　あなたは今後も伊丹市に住み続けたいと思いますか。（**○は１つ**）

1　伊丹市内に住み続けたい	2　市外へ移りたい	3　どちらでもない

問4－1
「住み続けたい」理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。
（**○はいくつでも**）

1　安全・安心なまちである
2　子育てしやすい環境がある※1
3　教育環境が充実している※2
4　保健・医療サービスが充実している
5　高齢者向けサービスが充実している
6　地域のつながりがある
7　日常の買い物が便利である
8　歴史・文化を感じるまちなみがある
9　自然環境が豊かである
10　通勤・通学などの交通の便が良い
11　多様な生き方・価値観が尊重される
12　その他(　　)

問4－2
「市外へ移りたい」理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。
（**○はいくつでも**）

1　安全・安心なまちだと感じない
2　子育てしやすい環境がない※1
3　教育環境が充実していない※2
4　保健・医療サービスが充実していない
5　高齢者向けサービスが充実していない
6　地域のつながりがない
7　日常の買い物が不便である
8　歴史・文化を感じるまちなみがない
9　自然環境が豊かでない
10　通勤・通学などの交通の便が悪い
11　多様な生き方・価値観が尊重されない
12　その他(　　)

※1　子育てしやすい環境：保育所や幼稚園等の保育サービス、子育て支援、病院、遊び場が充実しているなどの観点からお考えください。
※2　教育環境：幼稚園、小学校、中学校、高校等まで安心して通わせる状況にあるかなどの観点からお考えください。

■　これからの市の取組について、優先的に取り組んでほしいと思うものをおたずねします。

問５　伊丹市では、６つの大綱を軸に様々な施策にチャレンジしています。
各分野において、優先的に取り組んで欲しいと思う番号を１つご記入ください。
また、その理由があればご記入ください。

第６次伊丹市総合計画は、
こちらのQRコードから確認できます。→

大綱１　安全・安心

① 災害対策
地震や台風などの災害から命と暮らしを守る取組

② 消防・救急
火災や急病のとき迅速に対応できる体制を整える取組

③ 交通安全・地域防犯
交通事故や犯罪を減らし安心して暮らせるまちにする取組



番号（1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

大綱２　育ち・学び・共生社会

① 子育て・子育ち
安心して子どもを産み育てられる環境を充実させる取組

② 青少年の健全育成
子どもや若者が健やかに成長できる環境をつくる取組



③ 幼児教育・保育
質の高い幼児教育・保育を提供し安心して子どもを育てられる環境をつくる取組

④ 学校教育
学力と豊かな心を育む学校教育を進める取組

⑤ 教育環境
学校園・家庭・地域社会が連携して子どもたちを育む取組

⑥ 生涯学習・スポーツ
誰もが学びやスポーツに親しめる機会を広げる取組

⑦ 人権
すべての人の人権が尊重される社会をつくる取組



⑧ 男女共同参画
性別に関わらず、全ての人が個性と能力を発揮でき、生き生きと暮らせる社会を実現する取組

⑨ 多文化共生・平和
国籍や文化の違いを認め合いながら暮らし平和を大切にする取組

番号（1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

大綱３　健康・医療・福祉

① 健康づくり
病気を予防し心身ともに健康に暮らせるよう支える取組

② 地域医療
身近な地域で安心して医療を受けられる体制を整える取組

③ 地域福祉
地域で支え合い困りごとを助け合える仕組みをつくる取組

④ 高齢者福祉
高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支える取組

⑤ 障がい者福祉
障がいのある人が自分らしく生活できるよう支える取組



番号（1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

大綱４　市民力・にぎわい・活力

① 市民力・地域力
市民活動や地域のつながりを広げまちの活力を高める取組

② 都市ブランド
市民がまちの魅力を実感し愛着や誇りを持てるように発信する取組

③ 歴史・文化
伊丹の歴史や文化芸術を守り育てていく取組

④ 商工業
市内企業や商店を支え地域経済をさらに元気にする取組

⑤ 都市農業
身近な農業を守り地元産の農産物を広める取組

⑥ 雇用と労働
働きたい人が安心して働ける環境を整える取組

⑦ 空港との共生
空港と共生し安全で快適な環境を守る取組





番号（1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

大綱５　環境・都市基盤

① 環境保全
良好な環境を保全し地球温暖化対策を進める取組

② 循環型社会の形成
ごみを減らし資源を大切に使う社会をつくる取組

③ 公園・緑地・生物多様性
公園や緑を守り自然と生き物を大切にする取組

④ 都市計画・住環境
良質な都市空間や建物の耐震化など安全な住環境をつくる取組

⑤ 交通
安全で快適に移動できる交通手段を整える取組

⑥ 道路
安全性、快適性に配慮した道路整備（改築・維持補修）に関する取組

⑦ 水道・下水道
安全な水を届け下水を適切に処理する取組





番号（1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

大綱６　参画と協働・行政経営

① 参画と協働
市民と行政が協力し共にまちづくりを進める取組

② 広報・広聴
市の情報が分かりやすく伝わり、市民の意見が市政に反映される取組

③ ICTの活用
オンライン申請等デジタル技術を活用し便利な行政サービスを提供する取組

④ 行財政運営
健全な財政を保つとともに、効率よく安定した市政運営の基盤となる組織を構築する取組





番号（1つ記入）	今後優先すべきと考えた理由を、差し支えなければご記入ください。

■　【テーマ別①】これからの子どもたちを支える教育についておたずねします。

少子化や社会環境の変化が進む中、子どもたちを取り巻く環境や学びのあり方も多様化しています。本市では、子どもたち一人ひとりの育ちや学びを支えるこれからの教育のあり方についての検討を進めており、今後の参考とするため、市民のみなさまのお考えをお聞きするものです。



問６　これからの子どもたちにとって重要だと思う力

社会が大きく変化する中、子どもたちが将来にわたって学び続けていくために、特に重要だと思う力は何ですか。（**あてはまるもの３つまで○**）

1	基礎的な学力	5	社会性や基本的な生活習慣
2	自分で考え、挑戦しようとする力	6	情報を正しく理解し、活用する力
3	人と協力し、多様な人を尊重する力	7	体力や健康
4	自分の思いや考えを伝える力	8	その他（　　）

問７　これからの子どもの学びを支える学校教育について

子どもたちの状況や価値観が多様化する中、一人ひとりの子どもを支える教育として、特に重要だと思うことは何ですか。（**あてはまるもの３つまで○**）

1	一人ひとりに応じた学びや支援	5	ICT を活用した学び
2	安心して過ごせる居場所づくり	6	地域と連携した学習や体験活動
3	不登校の子どもへの支援	7	子ども同士が学び合える環境づくり
4	特別な支援を必要とする子どもへの対応	8	その他（　　）

問８　これからの学校と地域の関わりについて



学校と地域との関わりについて重要だと思うことは何ですか。

（**あてはまるもの３つまで○**）

1	地域全体で子どもの成長を支えること	5	多世代が交流できる場になること
2	学校と地域行事との連携が促進されること	6	災害時などに地域の拠点となること
3	地域の人が学習や体験活動を支えること	7	その他（　　）
4	学校施設を地域で活用すること		

問９　これからの教育に必要となる取組について

少子化や社会環境の変化が進む中、これからの子どもたち一人ひとりの育ちや学びを支えるため、教育に必要だと思う取組は何ですか。（**あてはまるもの３つまで○**）

1	小中一貫による9年間のつながりのある学びを進めること	5	学校以外でも学びや体験ができる機会の充実の支援をすること
2	子ども一人ひとりに応じた多様な学びや支援を充実すること	6	学校において民間企業やNPO等と連携した学びや体験の場を充実させること
3	放課後などに安心して過ごし学べる居場所を充実すること	7	学校施設を拠点とした地域活動を支援すること
4	多様な学び方に対応できる学習環境を充実させること	8	その他（　　）

■　【テーマ別②】交通規範意識と自転車レーンについておたずねします。

問１０　普段どのくらい自転車を利用しますか。（**○は１つ**）

1	ほぼ毎日	4	まったく利用しない
2	週に数日	5	自転車を持っていない
3	ほとんど利用しない		※ ４、５ に○をした方は問12へ



問１１　主に、どのようなときに自転車を利用しますか。（**○は１つ**）

1	買い物･飲食	4	子どもの送迎
2	通勤･通学	5	余暇
3	業務･仕事	6	その他(　　)

問１２　本市の自転車利用者のマナーについて伺います。（**○は１つ**）

1	大変良い	4	悪い
2	良い	5	非常に悪い
3	普通		

問１３　令和８年４月１日より開始された自転車に対する交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）では、１１３種類の違反行為が対象となりましたが、どの程度知っていますか。（**○は１つ**）

1	すべて知っている	4	まったくわからない
2	およそ半分知っている	5	青切符制度がわからない
3	数件くらいなら知っている		



問１４　交通反則通告制度（いわゆる「青切符」）をはじめ自転車を取り巻く環境やルールが変化していく中、「交通安全」についてどのような手段で周知・啓発することが有効だと考えますか。（**○は３つまで**）

1	VR機器等による仮想体験	4	チラシ配布
2	街頭での啓発活動	5	SNSなどでの情報発信
3	教室等の座学	6	市HPへの掲載

問１５　本市では自転車専用通行帯（自転車レーン等）の整備（歩行者と分離）を進めており、安全性について教えてください。



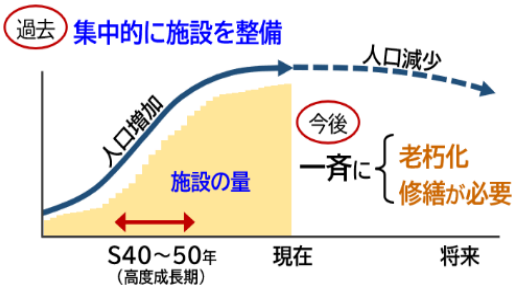
①　自転車利用者の立場でお答えください。（**○は１つ**）

1	安全になった	4	どちらかというと危険になった
2	どちらかというと安全になった	5	危険になった
3	どちらともいえない	6	その他(　　)

②　歩行者の立場でお答えください。（**○は１つ**）

1	安全になった	4	どちらかというと危険になった
2	どちらかというと安全になった	5	危険になった
3	どちらともいえない	6	その他(　　)

■　【テーマ別③】施設の利用状況などについておたずねします。



本市では、高度経済成長期以降、人口の急増にあわせて公共施設を整備してきました。

これらの施設は、次々と大規模改修や建替えといった更新時期を迎え、全てを同じ規模で更新する場合、その費用は膨大な額になることが予測されています。

そこで、施設の維持管理・運営、民間活力の活用など再配置の基本的な考え方を示した「伊丹市公共施設再配置基本計画」において、２０３０年度までにあり方検討を進めることとしている以下の３施設の参考とするためにお聞きします。

＜対象施設＞

施設名	こども文化科学館	昆虫館	みどりのプラザ
建築年	1988年(文化センター) 1990年(プラネタリウム)	1990年	2001年
施設概要	プラネタリウムや宇宙に関する体験展示を常設する科学館	昆虫をはじめとする生きものや自然環境について楽しみ、学ぶことができる博物館	憩いの場の提供、緑化の啓発や園芸等の振興を行う施設
施設外観			

伊丹市公共施設再配置基本計画は、
こちらのQRコードから確認できます。　→

問１６　各施設を知っていますか、また利用頻度について教えてください。
（**施設ごとに○は１つ**）

	よく利用する	利用したことがある	名前も場所も知っているが利用したことはない	名前は知っているが場所は知らない	名前も場所も知らない
こども文化科学館	1	2	3	4	5
昆虫館	1	2	3	4	5
みどりのプラザ	1	2	3	4	5

問１７　施設を利用した目的はなんですか。（**施設ごとに○はいくつでも**）

こども文化科学館	展示	講座・イベント	プラネタリウム	天体観察会	利用したことがない
	1	2	3	4	5
昆虫館	展示	講座・イベント	昆虫に関する相談	チョウ温室	利用したことがない
	1	2	3	4	5
みどりのプラザ	展示	講座・イベント	みどりに関する相談	荒牧バラ公園散策時の休憩	利用したことがない
	1	2	3	4	5

問１８　施設に期待することはなんですか。（**施設ごとに○はいくつでも**）

	学びや教養を高める	レジャーや娯楽	交流の場	特にない	わからない
こども文化科学館	1	2	3	4	5
昆虫館	1	2	3	4	5
みどりのプラザ	1	2	3	4	5

問１９　充実した方が良いと感じる機能（サービス）はなんですか。
（**施設ごとに○はいくつでも**）

	施設での展示や講座・イベントなど	学校や商業施設等での展示や講座・イベントなど	オンラインによる展示や講座・イベントなど	現状のままで良い	わからない
こども文化科学館	1	2	3	4	5
昆虫館	1	2	3	4	5
みどりのプラザ	1	2	3	4	5

問２０　施設に具体的に期待することや、課題だと思うこと、その他ご意見をご記入ください。（自由記述）

■　【テーマ別④】その他、みどり・自然や防災などについておたずねします。

問２１　伊丹市の「みどり・自然」には満足していますか。（**○は１つ**）



1	満足	3	普通	5	不満
2	やや満足	4	やや不満		

問２２　生物多様性という言葉の意味についてご存じですか。（**○は１つ**）

1　知っている	2　意味は知らないが、聞いたことがある	3　知らない

問２３　緑化活動や自然の保護活動に参加したことはありますか。（**○は１つ**）

1	よく参加している（月数回程度）	4	参加したことはないが、機会があれば参加したいと思う
2	参加している（年数回程度）	5	参加しようとは思わない
3	参加したことがある		

問２４　あなたは、災害に備えてどのような取組をしていますか。
（**○はいくつでも**）



1	水･食料等を備蓄している	5	家族で連絡方法を決めている
2	非常持出品を準備している	6	特に何もしていない
3	家具の固定などをしている	7	その他（　　）
4	避難場所を確認している		

問２５　あなたは、災害時どの手段で情報を入手するか教えてください。
（**○はいくつでも**）

1	市ホームページ	5	いたみ防災LINE	9	いたみ公式X
2	屋外拡声器	6	緊急速報メール	10	考えていない
3	地上波テレビ	7	FMいたみ	11	その他
4	ケーブルテレビ	8	ひょうご防災ネット		（　　）

問２６　あなたは、何か困ったことが起きた際、実際に助けを求めたり、相談したりできる人が身近にいますか。（**○は１つ**）

1	十分いる	3	あまりいないので、たまに困ることがある	5	わからない/答えたくない
2	ある程度いるので、いまは困っていない	4	まったくいないので、よく困っている		

■ あなた自身のことについておたずねします。※統計上必要ですのでおたずねしています。

問２７　あなたの世帯構成をお知らせください。（**○は１つ**）

1	ひとり暮らし	5	親と同居(自身は子)
2	夫婦のみ	6	三世代同居
3	子(18歳未満)と同居(自身は親)	7	その他(　　)
4	子(18歳以上)と同居(自身は親)		

問２８　あなたのご家庭の状況についておたずねします。（**○はいくつでも**）

1	未就学児を育てている	3	高校生以上の子を育てている	5	子育てや介護はしていない
2	小･中学生を育てている	4	介護が必要な家族がいる		

問２９　あなたの職業をお知らせください。（**○は１つ**）

1	会社員等(パート･アルバイト含む)	4	学生
2	自営業(農業含む)･自由業	5	無職(家事専業除く)
3	家事専業	6	その他(　　)

問３０　あなたの通学・通勤先を教えてください。（**○は１つ**）

1	伊丹市	4	西宮市	7	三田市	10	その他兵庫県	13	その他大阪府
2	川西市	5	尼崎市	8	猪名川町	11	大阪市	14	兵庫県･大阪府以外
3	宝塚市	6	芦屋市	9	神戸市	12	北摂エリア (池田市、箕面市、豊中市、吹田市、茨木市、高槻市)		

問３１　あなたは、伊丹市に通算して何年間住んでいますか。（**○は１つ**）

1	1年未満	4	10年以上～20年未満
2	1年以上～5年未満	5	20年以上
3	5年以上～10年未満		

問３２　あなたは、どの小学校区にお住まいですか。なお、お住まいの小学校区がわからない場合は、下の欄に町丁名をご記入ください。（**○は１つ**）

1	伊 丹 小学校区	7	天神川 小学校区	13	摂 陽 小学校区
2	稲 野 小学校区	8	笹 原 小学校区	14	鈴 原 小学校区
3	南　　小学校区	9	瑞 穂 小学校区	15	荻 野 小学校区
4	神 津 小学校区	10	有 岡 小学校区	16	池 尻 小学校区
5	緑 丘 小学校区	11	花 里 小学校区	17	鴻 池 小学校区
6	桜 台 小学校区	12	昆陽里 小学校区		

お住まいの小学校区がわからない場合
（記入例→千僧１丁目）

■　自由記述欄

最後に、これからの伊丹のまちづくりに関して
ご意見がございましたらお書きください。

以上でアンケート調査は終了です。長時間、ご協力いただきありがとうございました。
令和8年7月24日(金)までに返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします。
（WEB回答の場合も同日までにご回答をお願いいたします。）

＊＊